

JA産農畜産物をオリジナルメニューでPR 地産地消 食祭展



希少価値の高い「黒ぶだう牛」のステーキは焼き立てを提供

J Aは11月2日、J A産農畜産物の品質の高さを消費者にPRし、消費・生産拡大に繋げる事を目指して「地産地消食祭展」をJ A総合営農指導拠点センター（花巻市野田）で開きました。管内4地域の地域特産を生かした食材を使い、地元ホテルと考案したオリジナルメニュー約20品目の料理やデザートをズラリと並べたほか、地元のワインや日本酒など約60銘柄を用意。来場した約450人は、地産地消が詰まった一夜を楽しみました。

阿部勝昭組合長は「管内4地域は素晴らしい食材で溢れている。偉大な農業の生み出す恵を、食を通して味わい、感じてほしい」と話しました。

賢治りんご太鼓判! 28玉級が50万円 大阪市中央卸売市場でトップセールス



賢治りんごの魅力伝えながら買参人たちにアピールする高橋副組合長

J Aは11月21日、J Aオリジナルブランドの糖度に優れた蜜入りサンふじ「賢治りんご」のトップセールスを大阪市中央卸売市場で行いました。セリを前に高橋勉副組合長や花巻市の上田東一市長、J A果樹部会の継枝弥副部長、J A全農いわての畠山俊彰本部長など、各団体の代表者6人が買参人に魅力をアピール。高橋副組合長は「蜜もたっぷり安全安心の高品質。産地としての使命感を持ち、生産者が徹底管理のもと育てた。今年も最高の出来栄え」と力強く語りました。賢治りんごは高い評価を受け、最高値は特秀・28玉級(10kg/1箱)に50万円の値が付きました。

地域から愛され続けて40年 女性部花巻支部の家庭菜園グループ「青空市」

女性部花巻支部の家庭菜園グループは11月15日、部員が育てた採れたて野菜や花などを販売する「青空市」を花巻支店(花巻市豊沢町)で開きました。ダイコンやハクサイなどの秋野菜を中心に漬物や味噌などの加工品、リンゴや柿などがズラリと並び、多くの地域住民や支店職員が訪れ部員との会話を楽しみながら旬野菜を買い求めました。青空市は年2回夏と秋に開き40年以上続く歴史があり、地域から愛され続けています。



新鮮野菜が盛りだくさん。部員の笑顔が溢れる「青空市」

毎回来場している30代女性は「安く新鮮でおいしい。母さんたちと会話しながらの買い物は何よりも楽しい」と笑顔を見せました。

家畜に感謝 畜産部会連絡協議会が畜霊祭を開催

畜産部会連絡協議会は11月21日、農協野田神社(花巻市野田)の畜霊塔前で畜霊祭を開きました。酪農家や肥育農家、J A、畜産関係機関団体など約40人が参加しました。佐藤力夫常務や各連絡協議会などが玉串を奉納して献杯を行うなど、今年一年の家畜の霊を慰め、感謝の念を込めて神事を執り行いました。佐藤常務は「当J Aでは、畜産が米に次ぐ2番目の取扱高を誇る。今後さまざまな課題に力を入れて対応していく。また、5年後の全国和牛能力共進会に向けてJ A全農いわてと共に農家を全面的にバックアップしていく」と力強く話しました。



玉串を奉納する佐藤常務

園児に食と農の大切さ伝える 地元の保育園などにカボチャを贈呈



大きなカボチャに、驚き喜ぶ園児たち

大迫地区農家組合協議会と大迫町支店は11月7日、花巻市立大迫保育園にカボチャを贈りました。保育園を佐々木久夫会長と高橋真紀子支店長が訪問し、カボチャを園児代表の2人に手渡しました。佐藤妃夏ちゃん(6)は「大きなカボチャで重かった。早く食べたい」と笑顔を見せ、佐々木会長は「喜んでくれてよかった。園児たちの楽しそうな姿を見ると、私たちも作りがいがある」と話しました。カボチャの贈呈は、地域の子どもたちに地元でとれた農作物のおいしさを伝えようと毎年実施。6年目を迎えた今年も、約25kgを町内の保育園や小学校、福祉施設へ贈りました。

100歳おめでとう! 健康長寿を祝う グリーンホーム落合で祝う会



家族や職員、施設利用者が坂本さんの健康長寿を祝福しました

デイサービスセンター「グリーンホーム落合」(花巻市柵ノ目)は11月27日、この日100歳を迎えた利用者の坂本キヌさんの「100歳を祝う会」を開きました。坂本さんの生い立ちを紹介した後、阿部勝昭組合長が花束を贈呈し、踊りグループ「八重樫洋子社中」が踊りを披露。家族や職員、施設利用者など約70人が祝福しました。坂本さんは「長生きの秘訣は魚を食べて、急がず自然の流れに任せて過ごすこと」と笑顔を見せ、阿部組合長は「新しくなったグリーンホーム落合でより良い人生を送ってほしい」と話しました。